

ハンドボール

No.29

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input checked="" type="checkbox"/>	成年男子

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	B-ス
----------	-----

年月日	2023 年 10 月 10 日 (火)
大会名	特別国民体育大会 熱ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

公式記録用紙

A 鹿児島県						B 宮城県									
鹿児島県		霧島市		霧島市		霧島市		霧島市		霧島市		準決勝			
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mX0- 1/1	A	B	
	9	16		21	33										
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数				
	0/0		1	2	後3	1	2	後3	1/1						
			2817			2943									
No.	鹿児島県					No.	宮城県								
1	丸岡 史弥	G	W	2'	2'	D	DR	1	関口 勝志	G	W	2'	2'	D	DR
2	外種子田 湊汰	3						2	阿部 壘太						
3	早川 哲司	4						3	藤村 勇希	6					
4	大當 拓巳	1						4	山田 隼也	6					
5	今井 昭仁							5	川端 勝茂	2					
6	岡元 竜生	3		1				6	山田 暁央						
7	米満 旭	6		1				7	堤 由貴	8					
8	藤田 聖史		1	1				8	中川 翔太	2					
9	大田 凱士	1						9	石田 知輝	7					
10	外種子田 峻汰	2						10	佐藤 立盛	1					
11	坂元 孝一	1						11	濱口 直大	1	1				
12	福満 幸誠							12	鈴木 雄大						
監督A	小牟禮 竜太					監督A	阿部 直人								
役員B	入船 友紀					役員B	桑名 茂雄								
役員C	山中 隆史					役員C	小松 美和								
役員D	榎屋 晃成														

A	阿部 直人	チーム役員A署名	阿部 直人	B
特記事項				

レフェリー	國澤 隆	江田 優紀	國澤 隆	江田 優紀
TD	原口 佳也	松尾 俊彦	原口 佳也	松尾 俊彦
MO	福島 亮一		福島 亮一	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

《資料4 戦評用紙》

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(火)	試合番号	B-ス	回戦	準決勝
種別	成年男子	会場	霧島市 溝辺 体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
鹿児島県			宮城県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	9	前半	16	33	
	12	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評	
<p>成年男子準決勝は、『前回王者』大崎電機擁する埼玉県と7mTCまでもつれる死闘を制し、勢いに乗る地元鹿児島県と準々決勝で福井県との接戦をものにしたトヨタ自動車東日本擁する宮城県の対戦カードとなった。鹿児島県の選抜チームが再び実業団からの大金屋をあげられるか、宮城県がそれを阻止できるか注目が集まる。</p> <p>前半1分宮城県⑤川端のシュートで先制するも、②・⑩の他種子田兄弟によるスカイプレーですぐさま同点に追いつく。前半10分まで4対4で一進一退の攻防が続く。ここで宮城の分厚いディフェンスから③藤村のミドルシュート、⑦堤の速攻で2点差をつけるも、鹿児島県も負けじと③早川のミドルシュート、⑥岡元のポストシュートで得点し食らいつく。前半21分、試合が動く。ここまで⑥岡元、⑧藤田を中心とした粘り強いディフェンスを続けていた鹿児島県に対して宮城④山田のミドルシュート、⑦堤のサイドシュートなどでこじ開け、この試合初めて3点差が開く。その後宮城県がリード5点差にしたところで鹿児島県はタイムアウトを申請。試合の流れを変えたかったが、前半終了間際、⑦米満⑧藤田が2分間退場となり、後半の巻き返しに不安を残す形となった。前半は9対16で宮城県のリードで折り返した。</p> <p>後半開始早々、4人で攻める鹿児島県は⑥岡元②他種子田の得点でピンチを切り抜ける。しかし宮城県は、ディフェンスが6人に戻った鹿児島県に対して⑦堤の連続得点で突き放す。後半10分過ぎ、鹿児島県は途中交代の⑩坂元を中心としたオフェンスで反撃に転じる。宮城県も途中交代のGK①関口がナイスセーブを連発するが、後半21分に鹿児島県④大當のカットインシュートで6点差まで詰め寄る。宮城県を追い詰める鹿児島県だったが、後半27分に⑥岡元が2分間退場となり万事休す。宮城県が21対33で鹿児島県を振り切った。</p>	
記載者氏名	大西 史朗
送信日時	10月10日(火) 14:55